

しんしろ助産所新聞

第5号

発行元 しんしろ助産所 H23年6月27日



病院と連携して分娩リスクに対応

安全なお産を目指して2006年に日本産科婦人科学会が「ハイリスク妊娠・分娩を取り扱う公立・公的病院は、3名以上の産婦人科に専任する医師が常に勤務していることを原則とする。」という緊急提言をだしてから、この提言を契機に、関連病院の集約化がすすんでいます。

24時間365日いつ始まるかわからないのがお産です。少ない人数であらば医療者、妊産婦双方が両者のいずれかに無理がおきます。医師の3Kといわれ、若い医師たちに敬遠されたのも職場環境の厳しさゆえです。こうした経緯を経て、今では職場環境も改善され産婦人科を目指す医師も増えてきました。医療施設や産科医と助産師の連携も進んでい

ます。オープンシステムやセミナーオープンシステムの利用、院内助産所開設の流れがそれにあたります。この地域でも、昨年は豊川市民病院に院内助産所ができ、今年も豊橋市民病院にパースセンターがオープンします。里帰り出産の受け入れも制限されています。里帰り出産の受け入れも制限されています。里帰り出産の受け入れも制限されています。

しんしろ助産所では

助産師は正常分娩のお世話ですが、正常か否かは産んでみないと分かりません。異常が分かるとか

赤ちゃん写真館

平成25年1月～11月までに生まれた赤ちゃん



電話番号：0536-32-1050

E-mail：s-josanjo@tees.jp

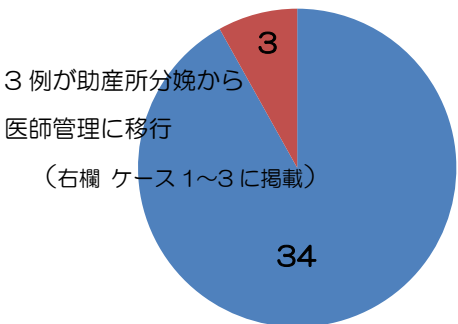
ブログ：しんしろ助産所だより

http://shinshirojosanjo.dosugoi.net/



妊娠経過が正常なら、分娩も正常とは限りません

開設～25年11月までに 助産所で出産した37例の内訳



- ケース1：軟産道強靱 予定日を過ぎて産道が硬く、分娩誘発し、2日間かけて出産
ケース2：産後出血 子宮頸部深部裂傷にて産後に1300ml以上の出血
ケース3：緊急帝王切開 早期破水し経過観察中、胎児機能不全で緊急帝王切開

＜利用者の平均＞

Table with 2 columns: Item and Average. Items include 妊娠週数 (38週6日), 分娩時間 (5時間45分), 病院到着～出生 (4時間19分), 児体重 (3047g), アプガールスコア (9点).

\*アプガールスコア：生まれたときの健康状態を点数化したもので7点以上が正常です。

らの搬送では遅きに失してしまうこともあります。安全なお産を考える時、現時点では必要時、医療が直ぐ受けられる環境はポイントが高く重要です。左欄に聖隷三方原病院にいる嘱託医と連携して行なってきた助産所のケースをまとめました。

しんしろ助産所を利用して



病院出産に移行された利用者さんの感想です。

ご本人の承諾のもと、原文のまま記載させていただきました。

私がしんしろ助産所を利用して出産しようと思った最大の理由に、上の子たちの出産がすべて、新城市民病院で産んでいるという事にありました。あのと

助産所のシステムについては、正直不安に思うところもありました。そのひとつに、助産所からの距離の事「ほんとに間に合うのか?」「途中で生れることはないのか?」という質問を何度もしてしまったような気がします。今思えば、どの病院を選んだにしても、この不安というのは付いて回ったのだと思いますし、お産という大きな試練を前にする妊婦ならだれでも、きっと一度は経験する悩みであったんじゃないかと思うのです。そんな中でも私は良い選択をしたと今でも思うのです。しんしろ助産所を選んで正解だったと!!

お産は何があるかわからないからと所長さんがいつも言われていたのを忘れられません。本当にお産は何があるかわからない!!そこまでは順調に来ていたのに。

妊娠38週にて高位破水と熱発 胎児の心音低下にて緊急帝王切開となりました。本当にあっという間の出来事でした。胎児の心音低下 いろいろな思いが廻る中、不思議と精神は平静を保つ事ができました。やはりそこには助産師さんの支えがあったからだと思うのです。助産所での診察や定期的な病院での診察、すべてに助産師さんが同行してくれたこと、その中で過ごす時間の中で、様々な会話をし、お産についての事を教えていただいたり、今の自分の不安を聞いていただいたりと、常に私の事、私のお産の事、子どもの事に、まっすぐに向き合ってくれる、そんな思いを感じる事ができ、いつの間にか助産師さんに厚く信頼を寄せる事が出来たという事が一番の要因であると思うのです。

そしてもうひとつの要因に、受け入れ病院との連携がきちっと出来ている事、医師との連携がきちっと出来ているという事が、一様に感じる事が出来私の安心につながったのだと思うのです。一般的に考えると施設管理から病棟管理への一連の流れには、大きな隔りがあり、大変な手間となるのではないかと疑念を感じるころではありましたが、今回、その流れは、とてもスムーズでありひとつのロスも感じる事がなかったように思います。やはりそこにはしんしろ助産所の助産師さんと担当医師との信頼が構築されており、担当医師も、妊婦に対し、助産所管理の時点から 気にかけてくださった結果であると身をもって感じました。まさにこれこそが安心安全なお産といえるのだと思いました。また、たんぼぼの助産師さんにも入院から退院まで担当外ではあるのにいつも病室に来て頂き、たくさんの励ましの言葉をもらった事今でも忘れません。

四度目のお産にして帝王切開、今までに経験した事のない大変なお産だったけれども、もう二度と経験できない、大切なわが子のお産、とても素晴らしい皆さんに支えられ、経験する事が出来ました。心から感謝しております。

最後に・・・ただひとつ悔いが残るのは・・・助産所で出産が出来なかったこと。もし、もう一度神様が機会を与えてくれるのであれば、私は助産所での出産を希望する事でしょう。そして私らしい お産をもう一度 助産師さんと共に考えてみたい・・・そう思うのです。

本当にありがとうございました。今後の皆様のご活躍心からお祈り申し上げます。



## 助産所 Q&A <お産の感想より抜粋させていただきました>

\*\*\*\*\*

### Q:助産所ってどんなお産をするのか想像できない・・・

A:「繰り返し健診に通うことで母子にとって自然なお産をするところだということがわかった。」

\*バースプランをもとに出産への思いを助産師と共有したり、安産となるような身体作りや、ご家族と一緒に妊娠経過を分かっていたるように心がけています。お母さんの産む力と赤ちゃんの生まれてくる力がよりよく発揮され、ご家族揃って元気な赤ちゃんが迎えられるよう助産所のスタッフがかかわります。

### Q:聖隷での健診の待ち時間はどんなふうにご過ごすの？

A:「助産師さんと話すことで助産所の考え方もわかったし、自分のことも理解してもらえた。」

\*健診の待ち時間を利用して保健指導の他、院内助産所に行ったり、病棟を見学したりします。ご家族で来ていただくとイメージもしやすく、お産の当日にお子さんが戸惑うことも少ないようです。また、何気ないおしゃべりを通してスタッフと利用者さん家族との距離が縮まっているように感じます。

### Q:フリースタイルのお産って初めてだけど大丈夫？

A:「事前にDVDを見ることでお産までの流れがイメージでき、出産に対して前向きな気持ちになることができました。」

\*健診やお産の準備クラスを通して、お産のシミュレーションを行っています。また、聖隷三方原病院では院内助産所で出産された方のご家族が撮影したDVDをみることが出来ます。院内助産所の中央の柱一杯に貼り出された出産直後の家族写真をご覧になると、更にイメージがしやすいようです。

### Q:陣痛の間、一人ぼっちになることはありませんか？

A:「『みんなで赤ちゃんを迎えよう』という雰囲気があって陣痛から出産までを楽しめました。」

\*誰だって一人で陣痛を乗り越えるのは辛いことです。「必ずそばにいる」というのがしんしろ助産所の信条です。

### Q:子ども連れの健診、産後通所・入所は可能？

A:「子どもの相手をしてくれたため、とても助かった。子どもも徐々に慣れたため、出産時知っている人ばかりだから子どもも安心できたと思う。」

\*いずれも子どもさんと一緒に利用できます。また、産後通所・入所は家族単位でもご利用いただけます。

### Q:子どもの立ち会い・・・迷っています

A:「子どもが立ち会うことにも最初は少し不安があったのですが、立ち会うことができ、本当に良かったと思います。家族の絆も深まった気がします。」

「〇〇にとって出産は特別なものではなく、赤ちゃんが生まれることはこういうこと、生命の誕生というものを当たり前前に受け入れられた経験だったのではないかと思います。」

### Q:母乳が出るか心配です・・・

A:「一人目の時はミルクを足さないと不安でしたが、飲む量をはかり、評価してもらうことで母乳だけでも大丈夫かな、と思えるようになりました。」

\*母乳が出ていないかも・・・という不安やうまく吸いついてもらえないことにより、ミルクを必要以上に足している方が大勢います。しんしろ助産所では哺乳の様子や赤ちゃんの体重増加などをふまえた上で、母乳分泌の状態を評価したり、授乳方法を提案するなど無理のない母乳支援をおこなっています。

### Q:1ヵ月健診まで、赤ちゃんが順調に育っているか不安です・・・

A:「2週間健診で赤ちゃんの体重の増え具合を見てくれて安心できました。」

\*しんしろ助産所では1ヵ月健診前に2週間健診を行っています。もちろん2週間にこだわらず、不安があれば早めにお越しいただいています。